



同窓会長の挨拶・・・・・・・・・・	2	令和4年度 決算報告・・・・・・・・	9
教育学部長の挨拶・・・・・・・・	3	令和4年度 教育実践事業報告・・・	10
創立 150 周年記念行事のご案内・・・	4	活躍する同窓生・・・・・・・・・・	12
会員専用システムの設定について・・・	7	教職サポート室の取組・・・・・・・・	16
令和5年度 理事会・評議会報告・・・	8	各学科同窓会の活動・・・・・・・・	17

# 同窓会活動に思うこと



## 同窓会長 高橋 忠明

昭和48年度 技術職業学科 卒業

### はじめに

会員の皆様におかれましては、ご健勝にて、ご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃は岐阜大学教育学部同窓会の活動に、ご支援ご協力をいただき誠にありがとうございます。

この度は、矢嶋英敏氏の後を受け継ぎ会長職を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

### 母校、150年の歩み

明治5年(1872年)の学制発布により、我が国の教育制度が定められました。その翌年、明治6年(1873年)12月に我が母校岐阜大学教育学部は、師範研習学校として大垣藩庁舎に設置されました。令和5年(2023年)12月には、満150年となります。

幾多の変遷を経て岐阜県師範学校、岐阜県女子師範学校、岐阜青年師範学校の体制となり、有為な教師人材を輩出してまいりました。その間、激動の時代を経て昭和24年(1949年)5月には、国立岐阜大学学芸学部となりました。昭和41年(1966年)4月国立岐阜大学教育学部と改称されました。昭和58年(1983年)9月約50年所在した長良を離れ、現大学所在地の柳戸1番1へ統合移転しました。なお、長良キャンパス跡地の長良公園には記念碑が設置してあり、140周年事業の際に師魂の文字を刻みました。

平成30年(2018年)12月国立大学法人岐阜大学と国立大学法人名古屋大学は、東海国立大学機構に統合されました。



【岐阜県師範学校】

### 新型コロナウイルスの試練

令和2年1月からのコロナ禍への対応は、150年の歴史の中において、大変厳しい試練を後輩の学生達、同窓会の組織に与えました。

新型コロナウイルス感染症の全国的なまん延により、文部科学省から教育実習特例が通知され、教育学部学生にとり重要な教育実習が授業等の代替でも可

するような状況が生まれました。岐阜大学教育学部では、150年の歴史を通して教育実習が重視されてきており、1年生教職トライアル、2年生教職リサーチ、3年生教職プラクティス、4年生教職インターンと各学年で教育実習の機会が設けられてきました。私どもと同様に学生たちは、子どもたちと語り合い、生活を共にし、先輩教師の姿から指導の実際を学び、教職への憧れを抱いてきました。このような教育実習の機会なしに、学生たちが教師となり教壇に立つ可能性が出てきたのです。

岐阜県内の教育実習協力市町教育委員会の教育長、教育実習協力学校の校長から、「教師を志す者にとり教育実習の価値は大変貴重なものである。万難を排し、あらゆる手立てを講じて教師を志す岐大生に教育実習の場を与えていく。」と教育実習を受け入れていただくことができました。コロナ禍への対応に関して大学の先生方による学生達への詳細な事前指導、教育実習協力校による学生達への温かく丁寧な指導をしていただくことにより、全ての学生が教育実習を無事修了し、新進気鋭の教師として教壇に立つことができています。

同窓会では、後藤会長、矢嶋会長の指導の下、対面での活動を極力控え、ICTの活用を推進してきました。各部会では、特に情報交流でのオンラインの活用等が進み、テレビ会議などで情報の伝達や協議での合理化が進みました。必要最小限での対面の協議を通して、対面でしか得られないものがあることも明らかになってきました。対面での活動が制約されたため、多くの各学科同窓会では総会を中止せざるを得ない状況に追い込まれました。この期間に卒業した学生(新会員)は、教科の先輩と膝を交え、教を乞う機会が奪われてしまいました。是非とも、学科同窓会総会が開催されますことを願っています。

### 新たな歩みだし

150周年を大いなる区切りとし、新たな歩みだしに向け、岐阜大学教育学部と同窓会は150周年式典を共催いたします。(詳細はP4~P6)令和6年6月2日(日)、同窓生の皆様、ごぞって参集し旧交を温めましょう。

# 岐阜県における教職魅力化に向けた取組について



教育学部長 山田 雅博

この約3年間、我々は様々な困難に向き合ってきました。しかし、5月より、少しずつ以前の生活を取り戻しつつあります。岐阜大学教育学部・教育学研究科においても、今年度は全て対面授業(大学院の夜間・遠隔履修生を除く)となり、学生達の賑わいも戻って参りました。この3年間も含め、これまで同窓会の皆様方には、日頃より多くの点でお世話になっていること、この場を借りて改めて御礼申し上げます。本稿においては、近年の教育学部・教育学研究科における取組についてご報告させていただきます。

## 岐阜県における教職魅力化に向けた取組について

教育学部・教育学研究科は、岐阜県を中心とする地域の子供達への教育を支えるために、岐阜県の教員養成・研修機能の中心的役割を担うことを使命としています。そのため特に、小学校・中学校・特別支援学校において誇りをもって働く質の高い教員を養成し、教員となられた後の研修やサポート等を行うことは教育学部・教育学研究科の重要な役割となっております。これらの重要な役割を果たすために、同窓会の皆様方から大変温かいご協力・ご指導を頂いていること、重ねて御礼申し上げます。

令和4年度においては、4月から11月にかけて、岐阜県が進めてきた教育施策を更に前進させるとともに、岐阜県における教師不足解消に向けて、教職の魅力化を図るため、岐阜県教育委員会と教員養成課程(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校)を有する県内の全7大学、市町村教育長、校長先生方が、オール岐阜で大同団結し、一堂に会して議論を行いました。各々の立場から率直に意見交換を行い、「養成・採用・採用後の一体的な教職環境の改善を目指す岐阜県型・教職魅力化モデル」の構築のため具体的な取組内容をまとめたのです。岐阜大学教育学部からは、教育学部長と1名の副学部長が参加し、岐阜県を中心とする地域の子供達への教育を支えるための取組について、岐阜県の教員養成をリードする中心大

学として多くの意見を申し上げました。

上記の準備会議を複数回経て、昨年(2022年)の11月15日には、まとめの会として、県内の全7大学の学長が出席し、教育現場の職場環境を改善するとともに大学などと一体となって教職を目指す学生を採用後に至るまで一貫して支援する方針を決めました。このうち「養成」の段階では教育委員会の先生方が大学1、2年生に教職の魅力伝える授業を行うほか、ぎふ清流教師塾(現在は大学3年次夏に開講されている教師養成塾)の改善等も盛り込まれました。また、「採用」の段階では、岐阜県の教員として採用された場合、奨学金の返済を支援する新たな制度を設けることも盛り込まれ、この制度は既に県において予算化されております。そして、「採用後」は、若手教員が授業準備に集中できる環境を整える等のことも記載されました。このまとめの会については、プレス発表もなされ具体的な取組については、可能なものから速やかに実行するとともに、取組の具体化等の協議を継続することも合わせて盛り込まれました。

上記のように岐阜大学教育学部・教育学研究科は、岐阜県の教員養成をリードする中心大学として、卒業された同窓会の皆様方と力を合わせて教員、及び専門職業人(スクールカウンセラー等)の養成に取り組み、岐阜県を中心とした地域の子供達の教育を支えていく所存です。今後ともどうか温かいご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



【清流の国 ぎふ 教師養成塾】

# 教育学部同窓生の集い

岐阜大学教育学部は、師範研習学校として設立されてから、令和5年12月で150年目を迎えます。

この間、岐阜大学教育学部は、多くの卒業生を輩出してきました。現在、岐阜大学教育学部同窓会の会員数は2万2千人を超えます。同窓生には、岐阜県師範学校・岐阜県女子師範学校・岐阜青年師範学校で学ばれた方、教育学部が長良キャンパスにあった頃に学ばれた方、そして昭和58年9月に長良キャンパスから柳戸キャンパスに移転した後に教育学部で学ばれた方がいらっしゃいます。

異なる時期に異なる場所で学ばれた同窓生が一堂に会し、岐阜大学教育学部150周年をお祝いするとともに、卒業後なかなか会えなかった級友や先輩・後輩との親睦・交流を深める会を、岐阜大学教育学部150周年記念行事として企画いたしました。

本来であれば、岐阜大学の講堂にて創立150周年記念行事を行うべきですが、岐阜大学教育学部は、令和6年度より校舎改修事業を開始するため、創立150周年行事はホテルグランヴェール岐山にて行います。たくさんの同窓生の皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

開催日：令和6年6月2日(日)

会場：ホテルグランヴェール岐山

## タイムテーブル

14:30 ～

場所 2階カルチャーホール前

◎ 受付開始

事前申込みをいただいた方には、記念品をご用意しております。

14:40 ～ 15:00

◎ ミニコンサート（音楽教育講座）

15:00 ～ 15:45

場所 2階カルチャーホール

会費 無料

◎ 記念式典

- ・挨拶
- ・動画上映「教育学部 150 年のあゆみ」
- ・学部の将来構想 等

16:00 ～ 16:45

場所 2階カルチャーホール

会費 無料

◎ 記念講演

「教育における ICT 活用（仮）」堀田龍也氏  
東北大学教授，中央教育審議会初等中等分科会 分科会長代理

17:00 ～ 18:30

場所 3階大宴会場 鳳凰

会費 8,000 円

◎ 記念パーティー

同窓生の皆様の語らいの場として、懇親会を行います。

## 講師のご紹介

### 堀田龍也（ほりたつや）氏

1964年熊本県天草生まれ。東京学芸大学卒業。東京工業大学大学院社会理工学研究科修了，博士（工学）。東京都小学校教諭，富山大学教育学部助教授，静岡大学情報学部准教授，メディア教育開発センター准教授，玉川大学教職大学院教授を経て，現在，東北大学大学院情報科学研究科教授，東京学芸大学大学院教育学研究科教授・学長特別補佐。

中央教育審議会委員，中央教育審議会初等中等教育分科会分科会長代理，デジタル学習基盤特別委員会委員長，義務教育の在り方WG委員等，多数歴任。



## 仮参加申込のご案内

参加を希望される，もしくは参加する可能性のある同窓生の皆様は，返信用ハガキまたはホームページより仮参加申込をお願いします。

準備のため，参加を希望される方の人数を把握する必要があります。

参加を希望される方および参加する可能性のある方は，会報に同封されております返信用ハガキ（住所等変更回答用ハガキ）または，同窓会ホームページよりお申込みください。詳細は，次ページの「仮参加申込から最終参加申込までの流れ」をご参照下さい。

仮参加申込された会員の皆様には，後日最終案内と出欠票をお送りいたします。（令和6年3月下旬から4月上旬の間にご指定された方法でご案内する予定です）

# 仮参加申込から最終参加申込までの流れ

1

## 仮参加申込を行う（令和6年1月末日締切）

仮参加申込の方法は、2通りあります。  
どちらか1つを選択して、仮参加申込を行ってください。



同窓会ホームページの  
仮参加申込フォームから  
申し込みを行う

同窓会ホームページ

[https://gifudai-kyodoso.jp/150th\\_application](https://gifudai-kyodoso.jp/150th_application)

または、こちらのQRコードにアクセスし、  
申込フォーム画面に必要事項を入力後に  
「上記の内容で送信する」ボタンを押して  
ください。



記念式典（15:00～15:45） <b>必須</b>	<input type="radio"/> 参加する <input type="radio"/> 参加しない
記念講演（16:00～16:45） <b>必須</b>	<input type="radio"/> 参加する <input type="radio"/> 参加しない
記念パーティー（17:00～19:00） <b>必須</b>	<input type="radio"/> 参加する <input type="radio"/> 参加しない
会員番号	9桁 or H26/3月卒以降は10桁学籍番号
お名前 <b>必須</b>	例) 岐大 太郎
フリガナ <b>必須</b>	例) ギタイ タロウ
旧姓（卒業時の姓）	卒業時と現在の姓が違う方
生年月日 <b>必須</b>	年 月 日
卒業年度	例) H5年度
卒業・修了・在籍時の学科・講座等 <b>必須</b>	例) 社会科教育（史学）
郵便番号 <b>必須</b>	例) 501193
都道府県 <b>必須</b>	
ご住所 <b>必須</b>	例) 〇〇市〇〇1-2-3 〇〇マンション101
連絡先電話番号 <b>必須</b>	例) 090-1111-2222
メールアドレス <b>必須</b>	例) 〇〇〇〇@〇〇〇〇.〇〇
申込状送付先選択 <b>必須</b>	<input type="radio"/> メールで希望 <input type="radio"/> 郵送で希望
その他連絡事項	

□スパムメール防止のため、こちらのボックスにチェックを入れてから送信してください。

上記の内容で送信する



同窓会報に同封されていた  
仮参加申込のハガキで  
申し込みを行う

同窓会報に同封されていた宛名台紙のハガキ部分を  
キリトリ線で切り取り、宛名の裏面の「教育学部同  
窓生の集いへの参加を希望します」の下部の必要事  
項に✓をいれ、期限内にご返送ください。詳細は、宛  
名台紙裏面をご確認ください。

同窓生の集いについては、  
会報誌4～6頁に記事を掲載しておりますご  
参照ください。

**同窓生の集いへの参加希望申込の  
ハガキ返送め切は  
令和6年1月末日です。  
参加・参加する可能性のある方は、  
期限内にご返送ください。**

郵便はがき  
料金を収入印紙  
5011190  
岐阜県岐阜市  
2220  
岐阜市柳戸1番1  
岐阜大学教育学部  
同窓会事務局 行

教育学部同窓生の集いへの参加を希望します

①記念式典参加（無料）  
 希望する  希望しない

②記念講演参加（無料）  
 希望する  希望しない

③記念パーティー参加（有料）  
 希望する  希望しない

◎最終案内の受取方法  
 郵送  電子メール

or

## 岐阜大学教育学部150周年記念行事「同窓生の集い」（第一報）

開催日：令和6年6月2日（日）  
会場：ホテルグランヴェール岐阜

【タイムテーブル】

14:30～ ① 受付開始 （場所）2階カルチャーホール前 事前申込みをいただいた方には、記 念品をご用意しております。	② 記念式典 （場所）2階カルチャーホール （会費）無料 *挨拶 *動画上映「教育学部150年の歩み」 *学部の特長映像等
14:40～15:00 ③ ミニコンサート（音楽教育講座）	④ 記念講演 （場所）2階カルチャーホール （会費）無料 *教育におけるICT活用（仮） *福原謙吾 氏 *東北大学教授、中央教育審議会初等 中等分科会、分科会長代理
15:00～15:45	⑤ 記念パーティーへの参加（有料） （場所）3階大宴会場 鳳凰 （会費）8,000円 同窓生の皆様の誇りの場として、 懇親会を行います。

参加を希望される方および参加する可能性のある  
方は、上のハガキを切り取り、必要事項をご記入の上、  
ご返送ください。  
ハガキを返送くださった会員の皆様には、最終案内  
と出欠票を令和6年3月下旬～4月上旬の間に送り  
いたします。

- ① 記念式典参加（無料）  
14:40～2階カルチャーホールで行われる記念式典への  
参加をご希望の方は希望するに✓をつけて下さい。
- ② 記念講演参加（無料）  
16:00～2階カルチャーホールで行われる記念講演に参  
加をご希望の方は希望するに✓をつけて下さい。
- ③ 記念パーティーへの参加（有料）  
17:00～3階大宴会場鳳凰で行われる記念パーティー  
（8,000円）に参加ご希望の方は希望するに✓をつけて下さ  
い。

◎最終案内の受取方法  
上記のいずれかの行事に参加を希望する場合（あるいは  
参加する可能性のある場合）には、最終案内と出欠票の受取  
方法を指定ください。  
郵送の場合は本会報の送付住所に送ります。電子メール  
を希望される場合は必ずメールアドレスをご記入ください。

2

## 同窓会事務局から最終案内等が指定された方法で届く（令和6年3月下旬～4月上旬）

仮参加申込時に指定された最終案内の受け取り方法（郵送もしくはメール）にて最終案内と出欠票が届きます。

3

## 参加申込を行う（令和6年4月末日締切）

参加申込の方法は、ハガキもしくは参加申し込みフォームの2通りを用意します。

## 岐阜大学教育学部創立150周年記念行事「教育学部同窓生の集い」（令和6年6月2日（日））

当日、会場にて皆様のお越しをお待ちしております。

# 会員専用システムの設定はお済みでしょうか？

－会員専用システムご利用の手引き－

## 1 同窓会ホームページ(<https://gifudai-kyodoso.jp/>)の画面右「会員専用システムログイン」をクリック



## 2 「ユーザーID／パスワード」を入力後、ログインをクリックしてください。

初回ログイン時には、メールアドレスと生年月日の登録が必要になります。

- ✓ ログイン後、ユーザー ID / パスワードは自由に変更できます。
- ✓ 万一、変更したパスワードを忘れてしまった場合は、登録済のメールアドレスと生年月日で即時に再発行を受けることができます。
- ✓ セキュリティはシステム管理者にて十分に守られますが、各会員におかれましても、ご自身の ID / パスワードは確実に保管していただきますようお願いいたします。



## 3 会員専用サイトには主に以下のような機能があります。

- ご自身の登録情報の確認と変更
- 同窓生の検索・閲覧 (WEB 同窓会名簿)  
同窓生の情報のうち、開示可とされたものを検索・閲覧することができます。

## 4 ご自身の登録情報の確認と変更



住所、勤務先などの情報は **編集** ボタンをクリックし、編集画面で修正できます。



【編集画面】

- 登録情報の初期設定は「非開示」になっています。
- 登録情報ごとに「全同窓生に開示」「同卒年・同学科専攻に開示」「非開示」を設定できます。
- 登録情報をどのように開示するかは、会員の皆様自身でご設定ください。

## 5 WEB版同窓会名簿の閲覧

卒業・修了年、氏名、住所、勤務先を検索し、本人が開示を許可した情報を閲覧できます。



スマートフォンからもご利用いただけます。



<https://gifudai-kyodoso.jp/>

# 令和5年度 岐阜大学教育学部同窓会役員

## 役員

会長	高橋 忠明	S48 技術
副会長	高橋 和子	S49 美術
	河合 鋭夫	S52 技術
	原 尚	S53 体育
	村瀬康一郎	S53 数学
総務部会	◎ 菱川 洋介	H16 数学
	○ 熊崎 盛敏	S55 数学
	桑原 利光	S57 教育
組織部会	◎ 今井 亜湖	H 8 技術
	○ 末松 豊生	S54 教育
	政井 裕司	S55 体育
	松村 敏幸	S56 物理
事業部会	◎ 大塚 弘士	S54 史学
	○ 深尾 雅人	S57 英語
	北村 直子	S55 国語
	森 透	S55 地学
	松井 徹	S56 数学
	河井 洋子	S57 家政
	古賀 英一	S59 技術
	早川 剛	S60 数学
広報部会	◎ 鈴木 祥隆	H22 特支
	○ 古田 信宏	S54 教育
	長村 覚	S57 国語
	今井 正代	S57 数学
	大野 裕子	S58 英語
監査	山田 唯仁	H27 美術
	高木 敏彦	S48 史学
	瀬瀬 政昭	S48 数学
	小柳 欣也	S51 化学

◎部会長 ○副部会長

## 評議員

国文	遠山 健二	S62
	吉永 康昭	H5
	富山 哲成	H8
	大前 剛士	H16
	丹下 侑輝	H19
史学	高木 敏彦	S48
	武藤 貞昭	S49
	川部 誠	S52
	養島 一美	S54
	國枝 孝治	S58
地理	小林 直樹	S50
	堀江 秀樹	S58
	吉野 光浩	S59
	各務 至	H4
	新井 恒雄	H6
法経	村井 俊之	S56
	横田 稔	S57
	丸山 靖生	H3
	日比野 崇	H16
	古川 徹	H19
哲学	近藤 新八	S43
	柘植 卓伸	S52
	國定 幸敏	S53
	榎井 奈津子	H元
	奥村 直也	H5
数学	瀬瀬 政昭	S48
	中川 敏之	S50
	日置 貢	S53
	熊崎 盛敏	S55
	名取 康夫	S57
物理	奥田 好紀	S56
	丹羽 直正	S58
	堀部 昇	S61
	市原 隆行	H2
	田辺 美樹	H3
化学	白木 和雄	S59
	酒井 茂	S61
	田辺 美樹	S61
	宮西 祐治	S63
	浅野 竜也	H3

生物	安藤 志郎	S43
	井上 好章	S53
	可児 美紀	H7
	渡辺 寛樹	H9
	細江 達三	H18
地学	森 透	S55
	浅野 和哉	S56
	古田 靖志	S58
	武藤 正典	H11
	澤村 秀彦	H14
音楽	棚橋 弘	S48
	丸山 真姫	S59
	杉本 公彦	S61
	中村 美雪	S63
	西脇ひろみ	H 3
美術	竹市 安彦	S49
	川出恵美子	S53
	鬼頭 立城	S60
	笠嶋 誠	H 2
	清水 也人	H 7
体育	野原 正美	S55
	清水 康孝	S59
	中村 俊彦	S61
	野原 徹二	H元
	高橋 茂洋	H 6
技職	伏屋 敬介	S45
	高橋 忠明	S48
	清水 茂樹	S58
	吉田 竹虎	S62
	淀川 雅夫	H7
家政	清水 優子	S50
	河井 洋子	S57
	山下 絵美	H15
	小林 明奈	H16
	坂 真紀	H17
英語	深尾 雅人	S57
	高橋 清仁	S58
	服部 照	S58
	山下 敦子	S60
	酒井 猛	S63

教育	安田 和夫	S53
	柳川 禎章	S53
	神谷 弘子	S53
	松井みどり	S54
江崎 麻美	S61	
師範男子	宮脇 修	S24
青年師範	石田 幸彦	S24
	服部 真六	S26

## 理事

国文	曾我部領史	H8
史学	武藤 貞昭	S49
地理	豊島 博	S58
法経	清水 泰浩	H2
哲学	谷本 龍馬	S50
数学	中村 昌秀	S49
物理	鈴木 雅史	S50
化学	服部 公彦	S57
生物	金子 伴和	S52
地学	岩田 將之	S48
音楽	棚橋 弘	S48
美術	竹市 安彦	S49
体育	田口 機子	S40
技職	伏屋 敬介	S45
家政	杉山 恵子	S48
英語	高橋 清仁	S58
教育	古田 信宏	S54
師範男子	宮脇 修	S24
青年師範	石田 幸彦	S24
	服部 真六	S26

(令和5年6月3日現在)

# 令和5年度 岐阜大学教育学部同窓会理事会・評議会報告

日時 令和5年6月3日(土) 10時00分から  
 場所 教育学部本館7階 第一会議室  
 出席者等 評議員・理事・役員 105名(内委任状出席71名)  
 会議 議事については、議長として高木敏彦氏を選出し、以下の事項について審議した。

- 令和4年度事業報告**  
村瀬総務部会長、村瀬組織部会長代理、末松事業部会長、鈴木広報部会長から資料に基づき報告があった。
- 令和4年度決算報告**  
村瀬総務部会長から4年度の会計決算報告があった。
- 会計監査報告**  
長島会計監査から、会計監査の結果、予算の執行管理等適切に行われている旨の報告があった。
- 事業報告及び決算の承認**  
審議の結果、報告の通り4年度事業と決算が承認された。
- 次期同窓会長の選出について**  
会長推挙委員会高木委員長より、次期会長に高橋忠明氏を推挙する旨の報告及び推挙理由についての説明がなされた。これを受け、審議の結果、高橋忠明氏を次期会長として決定した。
- 新同窓会長挨拶**  
新同窓会長に決定した、高橋忠明氏からの挨拶。
- 新役員の決定承認と報告**  
高橋同窓会長より、新役員の提案があり、これを承認した。
- 旧役員の挨拶・紹介**  
前同窓会長より挨拶があり、旧役員の紹介がなされた。  
 ※※役員交代※※
- 令和5年度事業計画**  
菱川総務部会長、今井組織部会長、大塚事業部会長、鈴木広報部会長から各部の事業計画の提案がなされた。
- 令和5年度予算審議**  
菱川総務部会長から、令和5年度予算についての提案がなされた。
- 事業計画案及び予算案の承認**  
審議の結果、令和5年度の事業計画と予算を承認した。
- その他**



# 令和4年度 教育学部同窓会活動報告

月	総務部会 等	組織部会	事業部会	広報部会
4	7 入学式 ● 監査(書面)	● 役員変更状況確認	● 第37集印刷開始 ● 教育研修課との打合せ ● 臨時部会；数回	
5	21 運営委員会		● 第37集発刊 ● 第37集に係る教育研修課への依頼 18 第37集配布作業	
6	11 理事会・評議会		● 教育事務所長会, 県小中校長会役員会に協力依頼 ● 県教委へ後援申請	● 第1回部会(担当分担, 細部打合せ)
7		● 会費未納者再請求	● 県教職員互助会へ助成金申請	● 担当者より会報の原稿の作成依頼
8	12 拡大運営委員会			
9				● 印刷業者の選定
10			● 教育事務所訪問 ● 総合教育センター長訪問	● レイアウト, 挿絵, 配置など ● 第2回部会編集会議
11			● 審査依頼: 都市教育長会長, 町村教育長会長, 県小中校長会長, 同小校長会長, 同中校長会長	● 会報の原稿の校正(初校) ● 会報の原稿の校正(2校)
12		● 会費未納者再請求 ● 1年生IDパスワード配布		● 同窓会報第28号発行・発送
1				
2			● 論文概要入手, 予備審査, 最終審査資料作成	
3	25 卒業・修了生に記念品贈呈		2 第二次審査会 10 最終審査会 ● 第38集発刊手続き開始	

## 令和4年度教育学部同窓会決算報告

### ●一般会計

<収入の部>		科目	決算金額
		前年度繰越金	3,489,226
		同窓会費	6,758,000
		雑収入	42
		<b>合計</b>	<b>10,247,268</b>

<支出の部>		科目	決算金額
		<b>運営費</b>	<b>1,700,432</b>
		庶務費	1,396,000
		事務管理費	169,494
		役員会費	97,341
		通信費	37,597
		渉外・交通費	0
		<b>組織活動費</b>	<b>1,522,885</b>
		名簿管理費	1,417,450
		同窓会入会式費	105,435
		<b>学部援助費</b>	<b>422,865</b>
		事務援助費	392,865
		教育文化助成費	30,000
		<b>事業活動費</b>	<b>628,217</b>
		成果刊行費	482,625
		会議費	137,575
		事務費	8,017
		<b>広報活動費</b>	<b>2,832,740</b>
		印刷費	1,562,722
		通信費	1,270,018
		次年度繰越金	3,140,129
		<b>合計</b>	<b>10,247,268</b>

### ●事業活動基金

<収入の部>		科目	決算金額
		前年度繰越金	38,738,357
		利息	646
		<b>合計</b>	<b>38,739,003</b>

<支出の部>		科目	決算金額
		貸金庫料	8,800
		次年度繰越金	38,730,203
		<b>合計</b>	<b>38,739,003</b>

### ●教育実践事業基金

<収入の部>		科目	決算金額
		前年度繰越金	2,288,025
		利息	5
		寄付金	300,000
		<b>合計</b>	<b>2,588,030</b>

<支出の部>		科目	決算金額
		教育実践論文顕彰費	432,000
		次年度繰越金	2,156,030
		<b>合計</b>	<b>2,588,030</b>

令和5年6月3日 評議会で承認済み。

# 令和4年度(第38回) 教育実践研究助成事業の報告

事業部会長 大塚 弘士  
昭和54年度 史学科 卒業

## 1 はじめに

新型コロナウイルス感染症の発生から3年。令和4年11月頃より徐々に制限が緩和されてきたとはいうものの、長期にわたる学校生活、社会生活での制限は、子どもたちの心に大きな影響を与えてきた。

そうした状況であっても、多くの領域、いろいろな立場の方が取り組まれた応募論文からは、子どもたちが生き生きと学習活動等に取り組んでいる姿を読み取ることができ、自己研鑽に励む先生方の熱意や教育に対する使命感を強く感じた。強い問題意識や思いをもって教育実践に取り組まれていることに心から敬意を表したい。

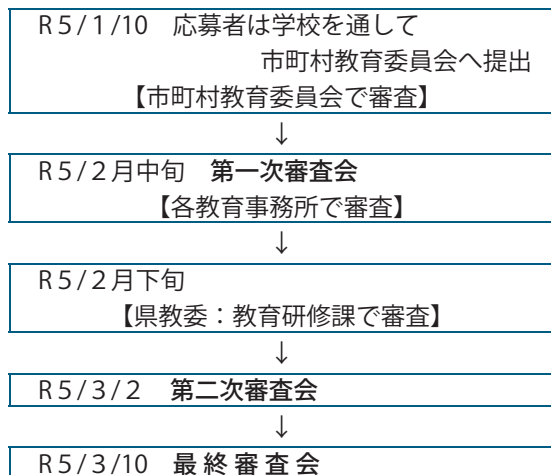
## 2 応募状況と傾向

応募総数：772人(前年度821人)

- ・20代・30代の募集が全体の約85%、40代の募集が全体の約11%を占めている。特に若手教員の指導力向上への意識の高さを感じる。
- ・教科等の枠で終わっていた内容が、「どんな人間を育てるのか」という資質能力の育成にまで目を向ける論文が多くなってきている。
- ・ICTの活用がより本質に迫る活用になっている。学力・学習状況調査のデータを授業に活用したり、ロイロノートによる協働的な学びを取り入れたりするなど、ICTを活用した教育が多くなってきている。

## 3 審査会の報告

(1)経過



(2)審査の観点

- ①教育の今日的な課題を踏まえ、解決の方向が明確になっているか。
- ②願う子どもの姿、指導意図、指導方法等は明確になっているか。
- ③児童生徒の成長や変容の姿がよく表れているか。
- ④研究および実践内容に創造性・妥当性が見られ、説得力のある論文であるか。

(3)令和4年度「最優秀賞」

岐阜市立草潤中学校 教諭 澤田 美由紀

「自らの特性を踏まえ、  
よりよく生きようとする子を育てる自立活動の指導」  
～通級指導教室における教材・教具の工夫～

- \*夜間の通級指導教室『トワイライト』でのコア・ティーチャーとして、生徒に寄り添った教材・教具の開発をし、困り感を自ら改善できるよう取り組んだ実践である。
- \*個別の指導に加え小集団活動を実施し、個別で学んだことを実践したり、仲間と関わる楽しさを味わったりする活動が工夫されている。

関市立桜ヶ丘中学校 教諭 後藤 正行

「つながりの中で  
主体的に造形的な創造活動に取り組む生徒の育成」  
～これまでの実践×ICTの活用＝主体的・対話的で深い学び～

- \*ロイロノートを活用し、全ての生徒の造形的な見方・考え方を引き出し、鑑賞活動が効果的に改善されている。
- \*整備されたICT機器の利点を生かして、美術の活動ならではの協働的な学びを位置付けるとともに、教師とのつながりを引き出した実践である。

## 4 今後に向けて(最終審査会から)

- ・最優秀賞について、甲乙付けがたい優れた実践論文は複数の受賞も認めていきたい。
- ・優れた実践論文を多くの教育関係者に読んでもらうことを踏まえると、研究目的の位置づけ、図や表の見出しのつけ方、強調の仕方等について考えていきたい。





# 岐阜県小中学校 教育実践研究論文受賞者一覧

最優秀賞（2編）		
岐阜市立草潤中	澤田美由紀	自らの特性を踏まえ、よりよく生きようとする子を育てる自立活動の指導 ～通級指導教室における教材・教具の工夫～ <span style="float: right;">&lt; 特別支援教育 &gt;</span>
関市立桜ヶ丘中	後藤 正行	つながりの中で主体的に造形的な創造活動に取り組む生徒の育成 ～これまでの実践×ICTの活用＝主体的・対話的で深い学び～ <span style="float: right;">&lt; 美術 &gt;</span>

優秀賞（8編）		
各務原市立川島小	石田 奈々	子どもの思いをとことん生かす図画工作科指導 ～自分の思いを表現する楽しさや喜びを味わえる子をめざして～ <span style="float: right;">&lt; 図画工作 &gt;</span>
北方町立北方南小	山田 彩加	養護教諭が行う児童の心の健康を守る支援 <span style="float: right;">&lt; 健康安全 &gt;</span>
大垣市立時小	篠田 耕佑	「ふるさと時」への愛着と誇りを育むふるさと学習 ～「ふるさと時のかがやきを発信しよう」の活動を通して～ <span style="float: right;">&lt; 総合学習 &gt;</span>
大垣市立墨俣小	高間 祐子	公立図書館との連携による図書館教育の充実 ～進んで図書館を活用し、自分の学習や生活に生かす子の育成～ <span style="float: right;">&lt; 図書館教育 &gt;</span>
美濃加茂市立太田小	高橋 優一	よりよい社会の実現をめざす子が育つ社会科学習 ～社会への関わり方を選択・判断する授業を通して～ <span style="float: right;">&lt; 社会 &gt;</span>
多治見市立精華小	虎山 泰昌	自ら学びを進める児童の育成 ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を通じた算数科の授業実践から～ <span style="float: right;">&lt; 算数 &gt;</span>
恵那市立恵那東中	森川 昇平	社会的な見方・考え方を働かせる深い学びを目指して ～自分事として社会的事象を捉え、単元全体を見通して仲間と共に考えを深める活動を通して～ <span style="float: right;">&lt; 社会 &gt;</span>
高山市立花里小	足立 幸生	主体的・対話的に学び合う授業の在り方 ～5年生算数「割合」の実践を通して～ <span style="float: right;">&lt; 算数 &gt;</span>

優良賞（40編） ※主題・副題は省略して紹介します。								
岐阜市立長良東小	前田 拓也	国語	海津市立城山小	北島 一司	体育	御嵩町立伏見小	桑原 寛直	特別支援
岐阜市立長良西小	村瀬 智也	特別支援	海津市立西江小	南 有美	健康安全	多治見市立滝呂小	江崎 紀子	音楽
岐阜市立長良東小	丹羽 宏美	外国語	養老町立養老小	牧野 晴菜	学級経営	多治見市立根本小	大鷲 康司	算数
岐阜市立陽南中	尾本 裕樹	数学	垂井町立不破中	横川 紗依	外国語	土岐市立泉中	橋本 壮平	社会
岐阜市立草潤中	北川 涼子	管理経営	組合立東安中	片山 咲希	社会	瑞浪市立明世小	羽柴 良介	理科
羽島市立竹鼻小	大坪 多郁子	特別支援	大野町立大野中	小野 由加里	美術	恵那市立明智小	林 誠悟	社会
羽島市立正木小	大野 翔平	道徳	池田町立池田小	服部 直美	国語	中津川市立南小	中村 翔子	社会
各務原市立那加中	植田 貴洋	人権教育	関市立旭ヶ丘小	長屋 陽子	生徒指導	中津川市立苗木小	平岡 一輝	算数
各務原市立桜丘中	村上 薫子	国語	関市立旭ヶ丘小	長谷部 裕哉	体育	高山市立西小	西岡 藍子	社会
山県市立高富中	辻田 紗希	特別活動	美濃市立美濃中	間々田 果歩	理科	飛騨市立宮川小	立田 香菜	健康安全
本巣市立糸貫中	春日 井貴博	外国語	郡上市立口明方小	高木 菜香	体育	下呂市立中原小	大前 江美	その他
本巣市立根尾学園	竹中 勇斗	総合学習	可児市立今渡南小	武市 諒太郎	特別支援	下呂市立下呂中	都竹 竜輔	生徒指導
笠松町立笠松小	武仲 美樹	道徳	可児市立今渡北小	高木 恵子	外国語			
大垣市立興文中	三輪 大輔	特別活動	富加町立富加小	長谷 彰之	体育			

新人賞（24編） ※主題・副題は省略して紹介します。								
岐阜市立柳津小	河瀬 純平	理科	関ヶ原町立関ヶ原小	重綱 椎名	算数	可児市立春里小	竹屋 安里紗	学級経営
羽島市立中島小	清川 空瑠美	数学	輪之内町立輪之内中	高野 祥代	健康安全	白川町立蘇原小	田近 優実佳	健康安全
各務原市立蘇原第一小	原田 雪乃	外国語	輪之内町立輪之内中	周藤 有紀	音楽	御嵩町立上之郷中	渡邊 涼太	社会
山県市立美山小	水谷 友樹	特別支援	揖斐川町立揖斐川中	加藤 憧真	保健体育	多治見市立精華小	福岡 菜々	社会
瑞穂市立南小	西脇 慎将	算数	大野町立南小	宮本 みつき	健康安全	土岐市立肥田小	山田 康弘	社会
大垣市立西小	奥田 昌太	体育	関市立原原小	若山 紘平	道徳	恵那市立長島小	水上 照美	算数
海津市立高須小	浅野 有里	理科	郡上市立高鷲北小	藤井 美里	特別支援	中津川市立阿木小	中野 春香	健康安全
養老町立上多度小	島崎 奈穂	国語	組合立双葉中	大井 真菜	理科	飛騨市立神岡小	渡邊 貴仁	体育

第38回教育実践研究論文の優良賞・新人賞の主題・副題は、同窓会ホームページよりご覧いただけます。



## 新人先生奮闘記

中津川市立付知中学校 教諭 西尾 佳称

令和3年度 国語教育講座 卒業



### 夏休み等の長期休暇はどのようなことをしていますか。

今年の夏休みは、地元で長期で帰省し、家族と過ごしました。また、大学の友達と集まってBBQをしたり、京都に旅行へ行ったりしました。もちろん、授業準備など長期休暇のうちにやっておいた方がよいこともありますが、長期の休みでは出勤日と休む日を自分で決められる部分が多いので、メリハリをつけて勤務することができます。同じ職場には、休みをまとめて取り、海外旅行へ行ったり先生もいらっしゃいました。学校へ行けば、普段忙しくてあまり関われない先生方とゆっくり話をしたり、お昼ご飯を食べに行ったりすることができるので、出勤の日も楽しく過ごしています。

### 教員として最も必要な力は何でしょうか。

「傾聴力」だと思います。生徒の行動の奥にある“思い”をしっかりと「きく」力です。

例えば、生徒を指導するとき、問題解決を急ぐあまり、生徒の気になる行動にまず目を向けてしまいがちです。しかし、生徒も何らかの“思い”があってその行動をしているものです。その“思い”を汲まない指導は、生徒の心に届きません。まずはその行動の奥にある“思い”を聴き、その“思い”に共感をした上で指導や助言をしていくことが、本当に生徒の為になる指導なのだと思います。傾聴し、理解を深めていくことは、生徒との信頼関係を築く第一歩になると考え、生徒指導に当たっています。

### 大学生活を振り返った時、現在の勤務に大いに役立っていることはどんなことですか。

経験を幅広く積むことです。生徒から相談をされた時、道徳の授業で説話をする時…教員になると、自分の経験を生徒に伝える機会がたくさんあります。そんな時、大学生の時のサークルや海外留学、アルバイトなど、様々な経験をしておいてよかったと思うことがたくさんありました。例えば話で説明をするよりも、実際

の私の経験を交えながら話をした方が、生徒も興味をもって話を聞き、具体的なイメージをもって目の前の問題に向かえているように感じます。社会人になると、大学生の時ほど時間はとれません。学業や教育に関わるだけでなく、よいと思います。様々な経験を積んでみて、将来の子どもたちに話せる話題のタネを増やしてほしいです。

### 後輩の岐阜大学生へ贈るメッセージをお願いします。

皆さんは教員に対して、残業も長く辛そう、大変そうといったネガティブなイメージをもっているのでしょうか。私もそのようなイメージをもっていましたし、実際、想像以上の忙しさと大変さに追われる毎日が続いています。しかし、イメージと違ったのは、その忙しさは、教員が生徒のために自ら動いている時間によるものであったということです。教材研究や授業準備もその一つです。どのような発問をどのタイミングで投げかければ生徒の思考を深められるかなど、授業を練っていると時間がかかります。大変ですが、授業で目の前にいる生徒の「分かった」と嬉しそうな姿を見ると、教材研究の時間が報われたと嬉しく思います。それほど、子どもの成長というものは私にとって魅力的なものであり、働く原動力になっています。

私は教員として毎日忙しくも楽しい日々を送っています。皆さんと働ける日が来ることを楽しみにしています。





## 羽島市立小熊小学校長

中村 俊彦

昭和61年度 体育学科 卒業

### 今のお仕事について教えてください。

今年度より、羽島市立小熊小学校でお世話になっています。創立150周年を迎える歴史と伝統のある学校です。学校の教育目標「美しい心と強い体でよく考え、夢と目標を実現する子〜かしてい子 あたたかい子 たくましい子〜」の具現を目指して取り組んでいます。

### 岐阜大学で学んだことが役に立っていると感じることはどんなことですか？

#### 「よりよく生きる」ことへの思い

大学の講義の中で、「よりよく生きる」ことへの意識が高まった講義があったことを記憶しています。今も、時々「どう生きるべきか」と自問自答する場合、この「よりよく生きる」という言葉が頭に浮かんできます。生き方の指針を学んだことが、今でも役に立っていると感じます。

#### 安全・安心な環境の重要性

体育学科の専門課程で、遠泳の授業がとても心に残っています。海を長い距離泳ぐ体験は、初めてのことでした。正直言うと、「最後まで泳ぎ切れるだろうか」、「泳いでいる間に、海の底から何かに襲われないだろうか」という不安な思いがあり、海へ行く前から心が重い状態でした。しかし、当日、その思いが軽減され、安心して取り組めたのは、安全を見守るボートの並走と励ましの声かけ、仲間と一緒に泳いだことが大きな要因だと思います。安全・

安心な環境が整えられることで、自分の力を発揮できることを改めて実感しました。

また、砂浜で教授と相撲をとったことなどは、貴重な思い出で、私の心のエネルギーとなっています。

こうした体験の積み重ねが、教員になってから児童生徒への指導に役に立っていると感じます。

### 岐阜大学卒業後に新たに学んだことや、学び直したことはありますか？

日々、実践する中で必然的に学んでいます。特に平成8年度から平成15年度までの8年間、岐阜大学教育学部附属小学校でお世話になったときの学びが、私にとって大きかったように思います。

体育科の先生方をはじめ、他教科や他県の附属学校の先生方との交流、そして、岐阜大学の先生方とお話する中

で、自分の考えを見直したり、ものの見方・考え方の新たな視点を得たりすることができ、大変有意義な8年間を過ごしました。

自分の考えを相手に伝えたり、他の人の考えを聞いたりすることにより、自分の学びが深まったり、広がったりすることの楽しさを実感しました。

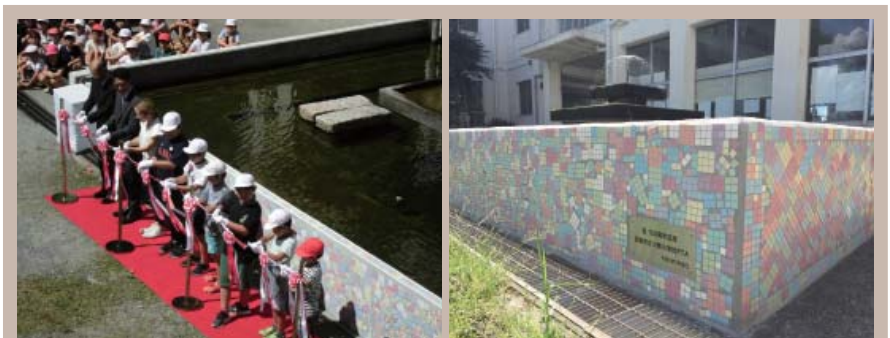
### 後輩の岐阜大学生へ贈るメッセージをお願いします。

かけがえのない命を大切に、よりよく生きましょう！

新たな出会い(人、もの、こと)を大切にしましょう！

教員の仕事はとても魅力的です。子どもたちの成長を願い、未知なる可能性を引き出すために試行錯誤する過程にやりがいや楽しさを感じています。また、子どもたちから学ぶことも多く、自分の成長にもつながる素晴らしい職業だと思っています。

みなさんのこれからのご活躍を大いに期待しています。



【創立150周年記念事業「池のタイルアート完成披露式」】

全校児童が色とりどりのタイルを思い思いに貼り、その後、PTA本部役員さんとボランティアの方々と貼りました。私も一部参加しましたので、私にとってもすてきな思い出となりました。



## 株式会社 JCB エクセ 企画部・経営企画チーム

内田 真里奈

令和元年度 特別支援学校教員養成課程 卒業

### 今のお仕事について教えてください。

大学卒業後、特別支援学校に勤務しました。その後、株式会社JCBエクセに入社し、現在は企画部経営企画チームで人事労務を担当しています。平日は会社で働き、休日はパン屋さんでパンの製造・販売をしています。

### 岐阜大学で学んだことが役に立っていると感じることはどんなことですか？

「頭を創る」ことが現在役に立っていると感じています。これは講義や卒業研究などで、自分が主体的に考えることを通して培われたと思っています。たとえば大学の講義では、授業や単元の目標を設定したり、条件を設けて多角的・多面的に物事を考えたり、仮説や可能性、期待値を出すために何が必要なのかピックアップしたりする活動があると思います。活動を通して、もちろん教養や専門的知識などの具体的な知識が身に付くと思います。しかし、それ以上に、多様な専門を学ぶ友人と出会い、広い視野で物事を捉えて各々のニーズを考慮した上で、「何が必要なのか・何が足りないのか」「どうして

こうなるのか」という思考の練習を積むことも大切なのではないかと思います。社会に出て生活する中で、大学で「頭を創る」ことができたことが、物事のとらえ方・考え方の役に立っていると感じています。

### 岐阜大学卒業後に新たに学んだことや学び直したことはありますか？

資格の勉強をしています。社会に出るからは、関わる方の年代の幅が大きく、また多様な経歴をもつ方や多様なコミュニティに出会うことが多くあります。と同時に、自身の無知さを痛感することが多くあります。そのため、資格の勉強を始めました。最近、宅地建物取引士資格を取得し、資格を活かした仕事もしています。知見が広がることで自身の生活の視野が広がり、世の中で起きていることや仕事で関わる方々のお話が身近に感じられたり、新たな出会いが増えたりと普段の生活が面白くなります。自分の興味や関心と関係ない分野の勉強をすることであっても、意外とそこで自分の好きなものに気づけたり、思わぬコミュニティと繋がれたりすることもあり、楽しいです。

### 後輩の岐阜大学生へ贈るメッセージをお願いします。

私は、自分の得意なことと、自分のしたいこと・好きなことは必ずしも一致するわけではないと思っています。大学で今皆さんが専攻して学んでいることは、誰しもが学べることではないです。今まで学んできたことを仕事に直結させることはとても素晴らしいことであると思いますし、是非、専攻分野で活躍してほしいです。しかし、その一方で、今学んでいることと仕事を直結させることにこだわりすぎず、これまでの経歴とは全く違ったことをする生き方も良いと思います。もし、全く違った道に進んだとしても、今学んでいることや取り組んでいることは無駄になるのではなく、皆さんの強力な引き出しの一つとして思わぬ場面で利用できると考えています。そのため、今大学生の皆さんには、勉強・バイト・遊び・サークル・部活等、様々な経験をして、自分の好きなこと・楽しいこと・嬉しいことをたくさん見つけてほしいと思います。

偉そうなことを書かせていただきましたが、私はまだまだ世間知らずですし、未だ自分が本当にしたいことがわかっていない状態ですが、最後に、私がマイナスの気持ちになったときに思う言葉をお伝えします。

「つらい事・理不尽な事は将来の自分にとって必要不可欠な『伏線』である」

「人の不幸の上であぐらをかくな」



【株式会社JCBエクセ本社ビル】



## 岐阜大学工学部学務係

田草川 祐輔

平成15年度 社会科教育講座(哲学) 卒業  
平成17年度 社会科教育専修 修了

### 今のお仕事について教えてください。

岐阜大学工学部学務係の事務職員です。普段窓口立つことは少なくなりましたが、カリキュラム(卒業までに必要な単位に関すること)や学部の入試に関する仕事をしています。

以前は全学共通教育の事務室や学務部の学生支援課でも学生に接する機会がありましたので、どこかで見たことがあるという方もいらっしゃるのではないかと思います。縁あって、教育学部管理係(会計)、MCR(Media and Communication Room)で夜間の遠隔大学院に関する仕事をさせていただいた時期もありました。

### 岐阜大学で学んだことが役に立ったと感じるときはありますか？

「大学の事務」と一言でいっても仕事は非常に多岐にわたっています。会計や建物の管理に関する部署、先生方の研究を支援する部署…岐阜大学には大学病院や附属学校もありますので、そちらに異動になることもあります。その中で、幸運にもこれまで学生と関わることの多い部署を異動させてもらっています。奨学金について、進路についてといった学生相談を受けることもあり、説明して相手に分かってもらうことはもちろん、これからどうしていったらいいのかを一緒に考える場面にも何度も立ち会うことになりました。そんな場面で『とにかく相手の話を

を聴くこと』を大切にできたのは教育学部で過ごした時間があったことが大きいと感じています。

出身の大学で仕事をしているので、“自分が学生のときはこうだった”がわかっていることも非常に役に立っています。岐阜大学出身の職員は(技術系の職員も)実は少なくありません。その中で、自身の評価が周りの同じ立場の職員を見る目にもつながることを少なからず意識して仕事をしています。まだ役に立ったわけではありませんが、いつか岐阜大学出身の職員だからこそできる仕事があるのではないかと考えています。

### 岐阜大学卒業後に新たに学んだことはありますか？

自分の学生時代には当たり前と思っていたことが通用しないことも多くなり、毎日学ぶことばかりですが、“学生のことを考える”ということは単に学生に甘くすることではないということには学んだことだと思います。例えば提出物に期限があった時、その期限を過ぎていたものを受け取ることはきちんと期限を守って提出された学生との公平性が保たれない場面ではやはり受け取れません。学生には厳しいと言われるかもしれませんが、学生のうちは許されることがあっても、社会の中では許してもらえないことの方が多いからです。(学生に期限を守らせるのであれば、自分もそうしなければいけない大変さも日々感じています。)学生の

ことを想えば、ダメなことはダメと言わなければいけないことの大変さというものも学んだことかもしれません。

### 後輩の岐阜大学生へ贈るメッセージをお願いします。

とにかく楽しんで、やりたいことができるのが大学生の特権だと思います。(職員の一人としては、決まったルールの中で楽しむものであることも強調しておきたいですが)それは研究でも、遊びでも何でもいいと思いますし、その環境は用意してもらえています。いざ仕事を始めてしまうとやりたいことができないわけではありませんが、あれほど自由だった時間は意図して作らないと持てなくなってしまいます。是非、卒業するときに楽しかったと笑える4年間を過ごしてください。

私の大学時代の友人はほとんど全員が教員に、もしくは教育に関わる分野に進みました。何年も会えていない友人もいますが、子どもがもってきた「夏の友」の裏表紙に知った名前を見つけたとき、新聞の写真やテレビの画面の片隅にどこかで見たことのある顔を見つけたとき、みんなも頑張っているんだと、とてもうれしくなります。同級生、先輩・後輩、先生、職員…たまたまですが同じ場所で同じ時間を過ごす、このつながりを大切にしてほしいです。

# 教職サポート室の取組

## ～一人でも多くの学生を教員に～

【教育指導員】

教育実習係：深尾雅人・大野裕子

教員採用係：末松豊生・早川 剛

### 令和6年度採用教員採用選考試験受験状況

※教職サポート室が実施する「学習会」参加者の受験状況(人)

	4年生				院生	合計
	岐阜県	愛知県	名古屋市	その他		
小学校	56 (55)	10 (15)	4 (3)	9 (4)	1 (1)	80 (78)
中学校	32 (37)	7 (9)	4 (5)	8 (5)	2 (2)	53 (58)
高等学校	11 (8)	0 (2)	0 (1)	2 (7)		13 (18)
特別支援学校	7 (9)	3 (3)	0 (0)	2 (0)		12 (12)
計	106 (109)	20 (29)	8 (9)	21 (16)	3 (3)	155 (166)

( )内は前年度

教員を志望している教育学部生の約96%が、教員採用試験に向けての勉強会「学習会」に参加しています。一方、学部生全体の受験者数の比率は61%と例年よりやや低くなっています。教員以外の公務員や一般企業への就職希望者が3割強となっているのが現状ですが、学部卒業後大学院等に進学する学生も一定数います。その内の多くが岐阜大学教職大学院に入学し、即戦力として学校に貢献できることをめざしています。教職サポート室と大学が連携・協力しながら、一人でも多くの学生が、やりがいと使命感をもって教員をめざしてくれるよう、サポートをしていきます。

## 教育実習係

教育実習等に係る学生への指導及び教育実習協力校・関係市町教育委員会との連携・調整

### 【実習協力校の校数】

全県	小 28	中 27
岐阜	小 16	中 16
西濃	小 3	中 3
美濃	小 2	中 2
可茂	小 2	中 2
東濃	小 3	中 2
飛騨	小 2	中 2

### 出身地に近い場所での教育実習(小・中各2年生5日間,3年生1か月間)

令和2年度から、県内の出身地に近い場所での教育実習「ふるさと実習」を実施しており、概ね良好な反応を得ています。他県出身者の多くは、岐阜市内またはJR沿線の学校で実習しています。

学生：「地元へ戻っておいでよ。」と声をかけていただけで、意欲が高まった。

教職員：地元の学生に来てもらえて、実習指導のやり甲斐を感じる。

### 教職トライアル→教職リサーチ→教職プラクティス→教職インターン

1年次：附属小中学校での観察,2年次：実習協力校での支援・ふれあい体験,3年次：従来の教育実習,4年次：希望者による希望校での職業体験

上記のように、学校現場での体験を段階的に充実させています。特に2年次の教職リサーチと3年次の教職プラクティスは、基本的には同じ学校で実習しており、「2年次に学校や子どもに慣れているため、3年次の実習に安心して臨むことができる。」と学生からも実習協力校からも好評を得ています。

ようやくコロナの影響を受けることなく、予定通り行える状況になりました。

<教育実習係の関わり>

事前指導・事後指導で、心構えの指導や体験の価値づけ等を行っています。また、期間中は学校を訪問し、管理職との情報交換、学生一人一人への声かけ・励まし、大学への情報提供を行い、実習等の円滑な運営を支えています。



【頑張った教育実習】

## 教員採用係

教員を志す学生への進路相談及び教員採用選考試験のための「学習会」の実施と指導・助言

### 教員採用試験の現状と対応

岐阜県の教員採用試験が、今年度大きく変わりました。これまで、1次試験では「筆記試験」と「集団面接」でしたが、今年度は「筆記試験」のみとなりました。また、2次試験では、小・中学校とも「模擬授業」による試験がありました。学生の不安を少しでも軽減するために、学習会で「個人模擬面接」や「模擬授業」「プレゼンテーション面接」などを実施し、2次試験に備えました。

なお、次年度(令和6年度実施)は、さらに大きな変革が予定されています。実施時期の前倒しと大学3年生の受験を認めるというものです。1次試験や2次試験及び合格発表は今年度より1か月ほど早くなる予定です。また、現在大学2年生(次年度3年生)は、1次試験のみですが受験することができます。したがって、4年生と3年生が同時に1次試験を受けることが可能となります。現3・2年生に対しては、県教育委員会等と連携し、情報提供等を積極的に進めていきます。

### 「2次試験を終えて」

- ・1次試験までは個人戦という感じでしたが、2次対策では、他講座の仲間とも互いに厳しいことを言いながら練習しました。学習会をきっかけに新たにつながった仲間もたくさんでき、学習会に参加して本当に良かったです。
- ・教員採用試験までの期間は、教師としての資質・能力を高めたり、大学生活での学びを整理したりする貴重な期間であると感じました。
- ・教員採用試験に向けての取組は、教師としての自分の考えを確かにするものだと感じました。どのような教師になりたいのか、どう子どもと接し、大切にしていけるのかということを経験で問われた気がします。そのために、自分はこれだけ大切にしたいという柱をもって臨めば、自然と答えは見つかると感じました。
- ・採用試験にかかわり手厚く支援していただき本当にありがとうございました。先生方のお陰で、悔いなくやりきることができました。



【教職スタートガイダンス】



【個人面接指導の様子】



【講座を越えた学び合い】



# 各学科同窓会の活動



## 化学

担当者：馬淵 勝弘  
連絡先：岐阜市立加納西小学校 ☎ 058-271-4122

今年度も新型コロナウイルス感染症への対応を十分に配慮しつつ、以下のような活動を行っております。

- (1) 化学科同窓会報「かんきせん」の発行
- (2) 修士論文・卒業研究発表会を応援
- (3) 同窓会入会への説明
- (4) 同窓会総会について  
同窓会総会は2年ごとに8月に行っております。  
※次回は令和6年8月予定。
- (5) 研究会活動(岐阜かがく教育研究会)  
定期的に集まって理科の授業の実践や、教材について話し合う研究会、年度末に実践交流会を行ってきました。昨年は服部公彦先生と白木和雄先生の講演を聞き、学び合いました。興味がある方はぜひ、ご連絡をお願いいたします。



## 体育

担当者：清水 康孝  
連絡先：本巣市立根尾幼稚園 ☎ 0581-38-8037

- (1) 令和4年度 優秀選手表彰  
平成5年2月8日(水)：体育学科卒業論文発表会にて実施  
本年度は13名の大学の現役選手の表彰を行いました。
- (2) 令和4年度 同窓会入会式  
令和5年3月25日(土)：卒業式後に実施  
本年度は20名の新会員の入会がありました。
- (3) 令和5年度 同窓会総会及び還暦お祝いの会  
令和5年6月10日(土)  
会 場：グランヴェール岐山  
出席者：55名  
毎年、原則6月の第二土曜日に開催しています。例年は総会とともに、還暦を迎えられた方のお祝いと懇親会を行い、親睦を深めています。新型コロナウイルス感染症対応のため令和2年度から4年度までの3年間は中止になっていましたが、本年度は4年ぶりに開催することができましたが、新型コロナウイルス感染予防対策として懇親会という形ではなく、総会及び還暦のお祝いの会での交流会としました。簡素化した会でしたが、久しぶりに集まり、楽しいひと時を過ごすことができ、よかったです。



## 地学

担当者：安藤 亮  
連絡先：土岐市立西陵中学校 ☎ 0572-57-7195

### ◇同窓会・研究会活動

○「地学年末研修会」の参加

【期日】令和4年12月29日

【会場】岐阜市立柳津小学校

【内容】実践交流会、研究会、など

令和4年度も若手の先生だけでなく、ベテランの先生方、ご退職された先生方からの多くの実践や研究結果の発表をしていただきました。

	発表の先生	発表の主旨や内容
第1部	若手～中堅で活躍されている先生	日々の授業実践や研究授業での実践報告、開発した教材や作成した指導案を資料として提示し、実践の成果を発表しました。ベテランの先生方から多くのアドバイスをいただく機会になっています。WEBを活用した遠隔参加などの試みも行いました。
第2部	中堅で活躍されている先生	授業実践だけでなく、理科教育にかかわるお話をさせていただきました。
第3部	ベテラン～各方面で活躍されている先生	岐阜県の地質に関する情報、地域とつながる様々な取組など、多方面にわたる理科に関する活動について参観者が大変勉強になる機会となりました。



※毎年、12月29日に開催しています。参加していただける方は、事務局までご連絡をお願いします。



## 音楽

担当者：杉本 公彦  
連絡先：岐阜市立早田小学校 ☎ 058-231-1319

### (1) 卒業生対象に同窓会入会説明会

2022年12月23日、棚橋会長と杉本理事長が、音楽棟で入会説明会（内容は同窓会の組織や活動内容の説明、理事の確認、名簿の作成等）を行いました。

### (2) 卒業記念コンサートを応援

2023年2月12日、卒業記念演奏会がOKBふれあい会館サラマンカホールで行われ、同窓会役員がリハーサルに伺いました。新型コロナウイルス感染症対策の中でしたが、素晴らしい演奏がホールいっぱいに響き渡る、素晴らしい演奏会でした。今年も同窓会からお花を贈呈させていただきました。

### (3) 同窓会総会及び懇親会を令和6年度に延期を検討中です

令和4年度開催予定を延期し、新型コロナウイルス感染症が5類に分類されたことで、令和5年度に開催をする準備を進めてきました。しかし、卒業生の多くが学校勤務をする中で、まだ懇親会に参加することを心ずる声があることに加え、令和6年度が教育学部設立150周年を迎える年であることを鑑みて、この記念すべき年度に音楽学科・音楽教育講座の同窓会も実施することは大変意義深いことであると考え、同窓会総会及び懇親会を令和6年度へ延期することを検討中です（8月30日現在）。本部役員会で確認の上、会員の皆様にお知らせをさせていただきます。なお、同窓会報「間」につきましては、現在編集委員の皆さんにより作成が進められており、今年度（令和5年度）中に、会員の皆様にお届けできる予定です。

### (4) 今後、様々なお知らせ等は教育学部同窓会ホームページをご確認ください

これまで音楽学科・音楽教育講座の同窓会費は「卒業時1回だけの方式」による会の運営を基本としてきました。しかしながら同窓会員数もすでに1200名を越え、数年前より同窓会充実資金として会員の皆様の自由意思による募金の協力をいただくことで、何とか運営を支えていただいているのが現状です。

今後も同窓会の運営を継続していくためには、会の運営に係る費用（主に郵送によるご案内や会報「間」の発送等にかかる費用等）を見直していくことが必要な段階にきております。

そこで、会の運営に係る費用を軽減していくための方法として、教育学部の「同窓会ホームページ」を活用させていただきたいと考えております。教育学部の同窓会ホームページは、すでに岐阜大学教育学部同窓会報でも紹介されておりますが、右のQRコードからもホームページをご覧ください。

同窓会ホームページ  
(<https://gifudai-kyodoso.jp/>)



今後の同窓会総会及び懇親会のご案内や会報「間」、また名簿の登録情報確認や変更（会員専用システムにログインすることで、ご自身の登録情報の確認と変更ができます。また、同窓生の検索・閲覧が可能となります。）を含め、ホームページでご確認・ご覧いただけるようにしていくことで、会の運営を継続していけるようにしていきたいと思っております。

教育学部同窓会ホームページをご活用いただくとともに、会の運営に係る変更にご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお祈りいたします。（令和5年度同窓会報「間」は郵送させていただきます。次号からはWEBでご覧いただけるようにすることを検討していきます。）



## 数学

担当者：堀江 尚暢  
連絡先：岐阜市立陽南中学校 ☎ 058-274-0055

### (1) 本年度の活動

○令和5年度 夏季研究会 西濃地区大会

【開催日】令和5年8月5日(土)

【会場】クインテッサ大垣

【研究会】発表者 59期生 大垣市立西部中学校 河合 正晃 教諭  
63期生 大垣市立江並中学校 島川 真彰 教諭  
67期生 養老町立上多度小学校 中村 高康 教諭  
71期生 海津市立城南中学校 脇田 雅大 教諭

今年度は西濃地区大会として、5年ぶりに対面による開催を行うことができました。西濃地区の先生に実践発表していただきました。提案された先生方に積極的な意見を述べる方が多くみえました。最後に山田雅博教授にもお話をいただくことができ、約40名の会員の方と共に充実した研究会になりました。

○数学科卒業予定者に対する、数学科同窓会「わしろう会」の組織・規約等の説明（令和6年1月予定）

○「わしろう会」役員会の実施と、来年度以降の計画の立案（令和6年1月予定）

### (2) その他

○令和6年5月に「わしろう会総会」を予定しております。開催日が近づきましたら、また改めて連絡させていただきます。ぜひ多くの会員様にご参会いただきますようお願いいたします。



## 史学

担当者：山元 祐介  
連絡先：山県市立美山中学校 ☎ 0581-52-1213

令和5年度は、史明会総会及び講演会を開催いたしません。次回の開催は、令和6年8月を予定しております。その際は、多くの皆様方のご参会をお待ちしております。

## 美術

担当者：清水 也人  
連絡先：県教育委員会教育研修課研修第一係 ☎ 058-271-3326

令和5年8月25日(金)に図画工作・美術の県内学校管理職会議を開催し、今後の在り方を協議し、会員数減少の中でも、次のように持続可能な活動を進めています。

- (1) BAND「岐阜県図画工作・美術研究会」グループ更新中
  - ・スマホ・タブレット等から「図画工作・美術」で気軽につながる場をつくり(R5.9月現在200名程)、随時内容を更新しながら相互の連携・連帯意識を高めています。
- (2) 造形教育関係者向けホームページ「岐阜図工・美術NET」更新中
  - ・県造形教育実践を県内外の関係者に発信・交流し、連携・連帯しています。
- (3) 岐阜県造形連盟ホームページ『ぎふ美術のかぜ2』更新中
  - ・同窓生相互の連携と連帯意識を高めるため、そして、美術文化及び美術教育の振興を図っています。
- (4) 同窓会入会式 令和5年2月19日(日)卒業・修了制作展後、大学美術棟で実施



## 技術

担当者：磯谷 直毅  
連絡先：岐阜大学教育学部附属小中学校 ☎ 058-271-0320

会員の方に御案内させていただいた通り、「岐阜大学教育学部 技術・職業学科同窓会 総会」を開催いたしました。また、総会の前に、役員会の開催もいたしました。

### 【役員会】

1. 期日 令和5年7月29日(土)
2. 会場 岐阜大学教育学部附属小中学校
3. 内容 組織の編成について  
同窓会総会の開催について  
組織編成について

### 【総会】

1. 期日 令和5年10月7日(土)
2. 会場 岐阜市「石金」
3. 議事

#### (1) 同窓会役員選出

令和5年10月より、会長、副会長、理事の交代が認められ、新役員体制となりました。

#### (2) 会計報告ならびに会計監査報告

#### (3) 同窓会会則

会則第3章、第8条の「総会は原則として10月第2日曜日に開催する。」を削除する、会則の一部改正が認められました。

#### 4. 懇親会

※この同窓会総会は3年に一度行われるものです。次回、令和8年度は飛騨地区が会場となります。

ご不明な点などがございましたら、同窓会事務局までお問い合わせください。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## その他の各学科同窓会事務局連絡先

学科	担当者	事務局連絡先	電話
国語	丹下 侑輝	500-8482 岐阜市加納大手町74	岐阜大学教育学部附属小中学校 058-271-0320
地理	坂口 亨	503-0653 海津市海津町高須町337番地	海津市立高須小学校 0584-53-0059
法経	丸山 靖生	501-6207 羽島市足近町七丁目66-1	羽島市立足近小学校 058-391-3348
哲学	井上 達也	500-8570 岐阜市藪田南2-1-1	岐阜県教育委員会 義務教育課 058-272-1111
物理	竹腰 宣行	505-8606 美濃加茂市太田町3425-1	美濃加茂市教育委員会 学校教育課 0574-25-2111
生物	高橋 亮	500-8482 岐阜市加納大手町74	岐阜大学教育学部附属小中学校 058-271-0320
家政	高松 一恵	501-0222 瑞穂市別府1888	瑞穂市立穂積中学校 058-327-0733
英語	市村 一	503-0838 大垣市江崎町422-3	西濃教育事務所 0584-73-1111
教育	安田 和夫		

## 住所不明の会員の皆様への連絡にご協力ください！

これまで同窓会報とともに送付してありました「住所不明者一覧表」は、本年度は会員サイトにて確認をお願いするようになりました。

会員サイトにログインをし「お知らせ」から「住所不明者一覧表【令和5年10月現在】」を選択し、PDFファイル(住所不明者一覧表2023.pdf)をクリックすると一覧表をご覧いただけます。連絡を取り合っている同窓生のお名前が一覧表にありましたら、ご本人様から同窓会事務局へ連絡していただくようお願いいたします。

代理で連絡くださる場合には、ご本人様の了解を必ず得た上で、同窓会事務局へご連絡ください。

### 【住所不明者一覧表の確認方法】



<https://pu.palsyne.net/u-gif-kyouiku/>  
会員サイト QR コードを読み込む



会員サイトのログイン画面に  
IDとパスワードを入力しログイン



トップ画面右上のお知らせ「住所不明者一覧表【令和5年10月現在】」を選択し、「住所不明者一覧表2023.pdf」をクリックする。



住所不明者一覧表

## 着任教員のご紹介

令和5年4月1日をもって、  
着任された教員は次の通りです。

山田 唯仁	助教	美術教育講座
-------	----	--------

## 退職教員のご紹介

令和5年3月31日をもって、  
退職された教員は次の通りです。

小川 陽子	准教授	国語教育講座
原田 峻平	准教授	社会科教育講座 (現代社会)
仲澤 和馬	教授	理科教育講座 (物理)
山脇 恭二	教授	保健体育講座
尾高 広昭	教授	技術教育講座
夫馬 佳代子	教授	家政教育講座
矢橋 透	教授	学校教育講座

## 編集後記

大学の講義は対面形式で行われるようになり、コロナ禍前の状況に戻りつつあります。これまでオンライン形式での講義を経験したことがなかったため、オンラインでのコミュニケーションの難しさを感じていました。対面形式での講義に戻り、実際に教室での講義をしますと、対面形式の良さとおオンライン形式の良さの両方に改めて気づかされます。オンライン形式の講義だから集中して講義に出席することができたという声もあります。例えば、聴覚に障害のある学生に対する支援では、講義者の音声を音声認識でリアルタイムに文字化して配信する支援があります。オンライン形式の講義では、講義者の音声を文字化したものと、講義者、授業資料(スライド)を同一の画面で見ることができ、視線の移動回数を減らすことができるという利点がありました。多様性という言葉が浸透してきていますが、学ぶ環境の多様性についても考え続けていく必要があります。

さて、教育学部が150周年を迎えます。同窓会報を振り返ってみようと思い、第1号(1995年10月)の編集後記を読んできました。そこには「会員1人1人へ会報をお届けするだけでなく、会報の配布は各科同窓会にお願いした。」と書かれていました。現在は、同窓会事務局から会報をお届けできる体制に整えられており、また同窓会のホームページでも閲覧できるようになっています。同窓会報にも歴史があり、ご尽力をいただいた諸先輩方の思いや行動が今の同窓会を形作っていると改めて実感をした次第です。150年という教育学部の歴史を感じながら、本29号をお読みいただければ幸いです。(広報部会 鈴木祥隆)

## 同窓会報第29号の表紙

《子馬のペガサス》 岐阜大学所蔵

奥村晃史 (43期生 画家 教育学部非常勤講師)

過去から現在、そして未来へ、人間は多くのものを繋いでいきます。科学や芸術や文学、教育も。かつて野生であった家畜や果実の現在の姿は、その繋がり象徴のように感じます。日々日常のテーブルにはいつでも動物や植物の痕跡を見つけることができます。私のテーブルの上でそれはペガサスの物語となりました。



## 岐阜大学同窓会報第29号

発行日 / 令和5年12月発行

発行者 / 高橋 忠明

発行所 / 岐阜大学教育学部同窓会

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1

TEL : 058-293-2344 (平日10時~15時)

FAX : 058-293-2343 (24時間)

E-mail : [info@gifudai-kyodoso.jp](mailto:info@gifudai-kyodoso.jp)

岐阜大学教育学部同窓会ホームページ  
<https://gifudai-kyodoso.jp/>

